



令和6年度 古河市立三和中学校グランドデザイン



古河市立三和中学校

学校評価

方針

【学校教育目標】

知・徳・体のバランスのとれた心豊かで創造性に富む生徒の育成

～校訓（至誠・勤勉・自治）が象徴する伝統を継承するとともに、主体的に学び、未来を共に創ろう～

改善
(ACTION)

評価
(CHECK)

【目指す学校像】一人一人のよさを認め、可能性を引き出す温かい学校
～「百花繚乱」全員で咲かせ 笑顔の花（生徒会スローガン）～

【組織目標】（二年度）

経営者（学年・教科・部活動）の視点に立って一人一人（生徒・保護者・同僚・来校者）を大切にし、教育活動の成果（質・量・信頼）をあげる
○夢の実現につながる確かな学力の定着に向け、ICT活用とカリキュラム・マネジメントを取り入れた授業を工夫する。
○人権尊重の精神を基盤に自分のよさを発揮し、可能性が追求できる温かな学年・学校づくりを推進する。

【研究主題】「持続可能な社会の創り手に必要な資質・能力」を育む学習指導の在り方（二年度）

－ICT活用とカリキュラム・マネジメントを取り入れたキャリア教育とESDの視点に立った授業改善を通して－

目指す教師像	目指す生徒像			目指す保護者像	
生徒をよりよく変容させる教師(Specialist)	知識・技能	確かな学力	豊かな心	健やかな体	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の話を受け止められる保護者 ・子供の気持ちがかかる保護者 ・子供の将来を考え行動する保護者
生徒と共に学ぶ感性豊かな教師(Scrum)		習得	気持ちのコントロール	健康の保持	
生徒の気持ちが理解できる教師(Smile)		活用	他者と協働	自立的生活	
		社会との関わり	相違の解決	集団の健康保持	
	学びに向かう力				

【確かな学力・豊かな心・健やかな体を総合的にとらえ構造化】

学びに向かう力・人間性等

どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか

社会課題の解決への意識（探究学習）

（横断的・総合的カリキュラム、次世代教育）

可視化・焦点化・言語化による授業設計

カリキュラム・マネジメントの充実（つながり）

知識・技能

何を理解しているか、何ができるか

知識・技能の理解、定着はAI「Qubena」で
（多くの選択肢から自分で選択）

生徒による授業進行

Real learning
linked to society

思考力・判断力・表現力等

理解していること・できることをどう使うか

Chalk&Talkからの脱却
（INPUTからOUTPUTの学習へ）

施策	確かな学力（学力UP）	豊かな心（絆UP）	健やかな体（健康UP）
知識・技能	1 一貫性のある教育課程 ・授業スタイルの統一 ・Qubenaによる定着 ・単元配列表の活用 授業がわかる 85% 進んで発表 75%	1 温かな人間関係を育む活動の充実 ・考え、議論する道徳の推進 ・特別支援教育の推進 ・特別活動の充実 学校が楽しい 90% 自分が好き 80%	1 生活習慣確立と自己管理能力育成 ・あいさつ運動 ・自問清掃 ・情報モラル教育の充実 自己管理能力 85%
思考・判断・表現	2 ICTを活用した課題解決能力育成 ・対話的で協働的な問題解決場面 ・スティ・ログの活用、CBTを用いた評価 ・OUTPUT型授業の推進 ・ESDの視点を取り入れた学び	2 主体性と規範意識を育む教育活動 ・自己有用感を高める生徒会活動 ・SC、SSW等の専門家との連携 ・自治的活動の充実 ・学年担当制による支援 必要とされる 90% 助け合える 90%	2 魅力ある部活動の充実 ・よりよい人間関係づくり ・生徒の主体的・計画的な運営 ・運動習慣の確立 ・地域移行の推進 体力A+B > 昨年度 交通事故等ゼロ
学びに向かう力	3 社会課題解決への意識の高揚 ・総合的な学習の時間との関連 ・探究学習の工夫 ・キャリア教育の充実 ・持続可能な社会の創り手の育成 学習の自立 80% 県学診 > 昨年度	3 自己指導力高揚を図る生徒支援推進 ・キャリア教育×ESD=やり遂げる力 ・SDGs実現に向けた取組 ・制服変更に伴う生活スタイルの見直し ・生徒会主導の制服変更広報(多様性尊重)	3 危機回避能力の高揚 ・感染症の予防 ・関係諸機関との連携 ・適切な行動を促す避難訓練 ・自他の生命の尊重 危機管理意識 90%

信頼される学校づくりの3つの基盤【安全・安心な学校】【服務規律遵守と信用失墜行為根絶】【効果的な働き方改革】

説明責任・社会に開かれた教育課程

実践 (DO)

計画 (PLAN)

教員評価・教員研修